

可児市民の人権意識調査 報告書



可児市人権啓発センター

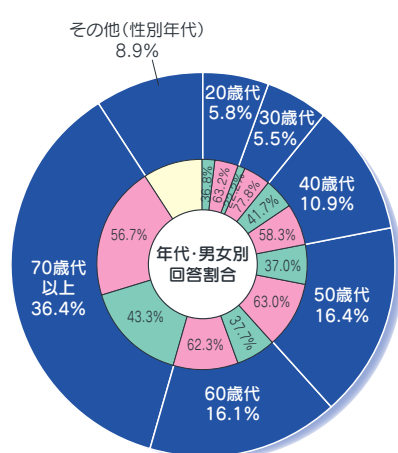
令和4年11月15日発行

■市民の人権意識は？

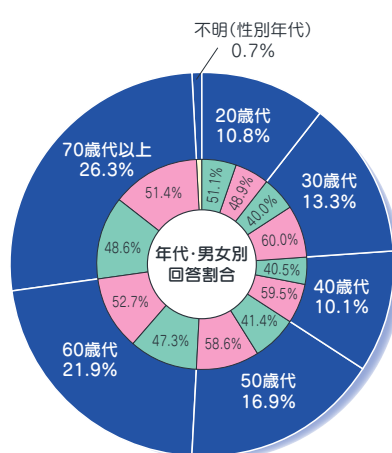
可児市人権啓発センターでは、平成3年の開設以来、数年ごとに「市民の人権意識調査」を実施してきました。この調査の目的は、市民の皆さんの人権意識の実態を把握し、従来調査との差の大きさにより、その解決のための啓発活動を進め、調査結果を公表し、市民の皆さんの人権に対する関心を高めてもらうものです。

〈概要〉

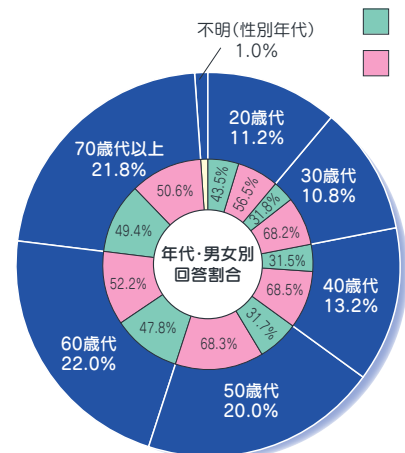
年 度	令和4年度			平成30年度			平成26年度		
調査の時期	令和4年8月1日～8月19日			平成30年8月1日～8月15日			平成26年8月1日～8月15日		
調査の方法	無作為抽出法（市民1,000人）			無作為抽出法（市民1,000人）			無作為抽出法（市民1,000人）		
対象の属性 （20歳以上）	男性	500人	1,000人	男性	500人	1,000人	男性	500人	1,000人
	女性	500人		女性	500人		女性	500人	
回答者数	男性	133人	330人	男性	187人	415人	男性	165人	409人
	女性	188人		女性	225人		女性	241人	
	その他	9人		不明	3人		不明	3人	
回 答 率	男性	26.6%	33.0%	男性	37.4%	41.5%	男性	33.0%	40.9%
	女性	37.6%		女性	45.0%		女性	48.2%	
	その他	0.9%							



令和4年度

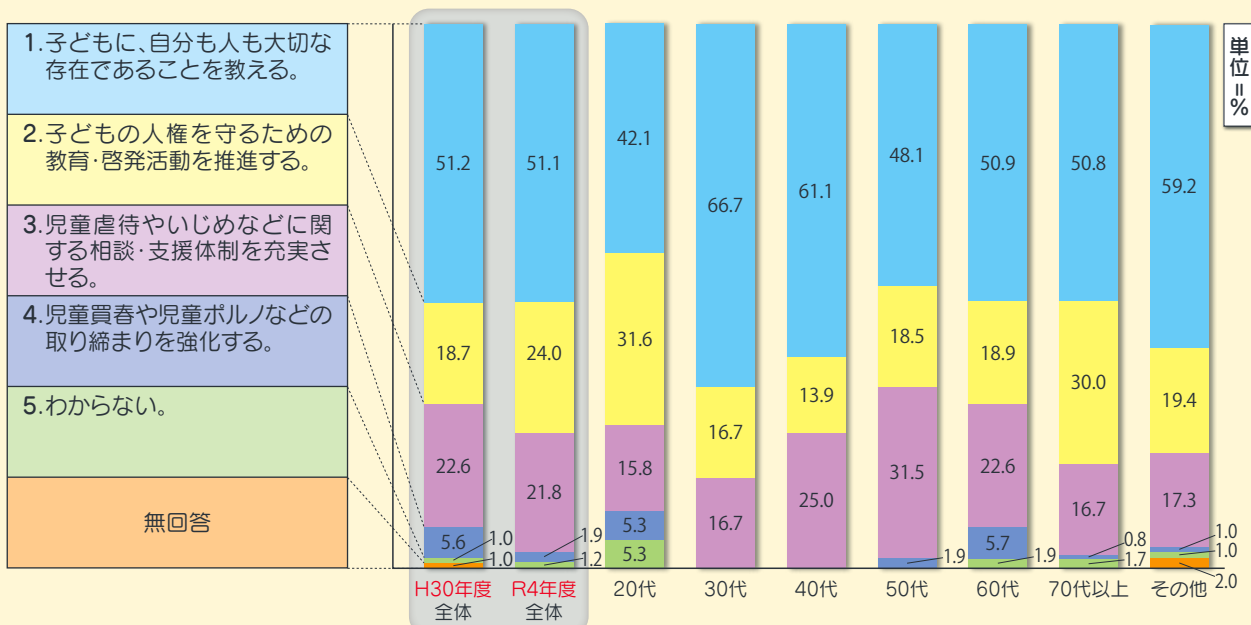


平成30年度



平成26年度

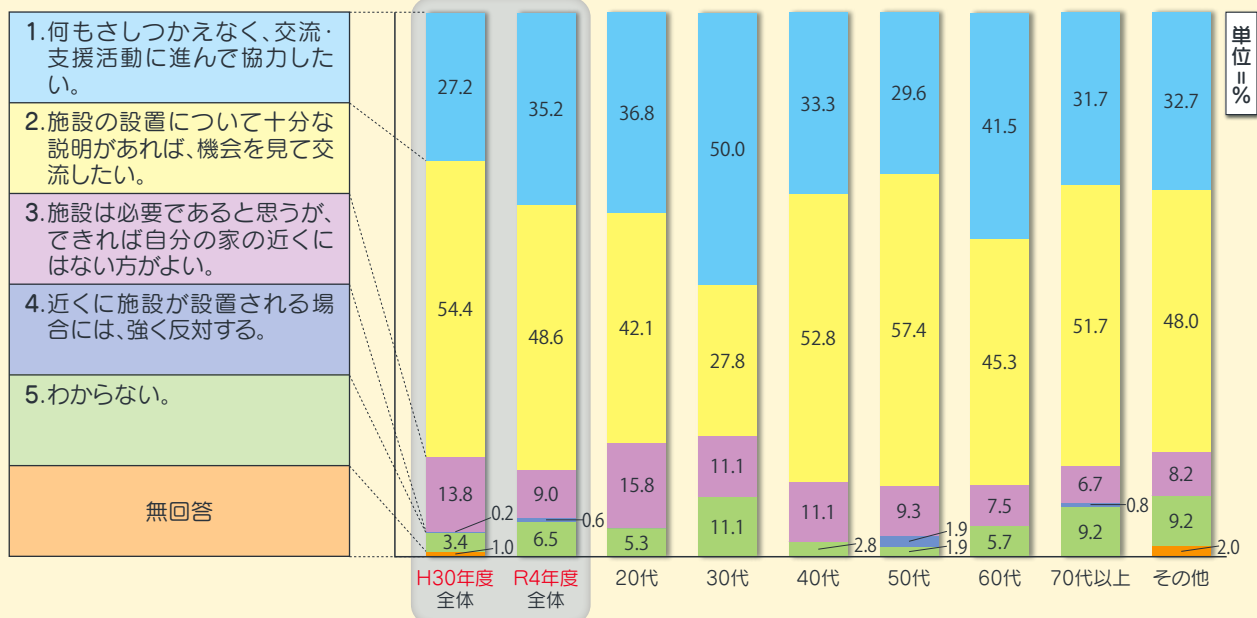
※市民の中から、男女各500人を条件に無作為抽出としました。
※回答率は前回より8.5%低下しました。前回同様女性の回答率が高い結果となりました。
※この調査は可児市市民部人づくり課の協力を得て実施しています。



【質問 5】 障がい者について

仮に、あなたの近所に障がい者を支援する施設が設置されることになった場合、あなたはどのように考えますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

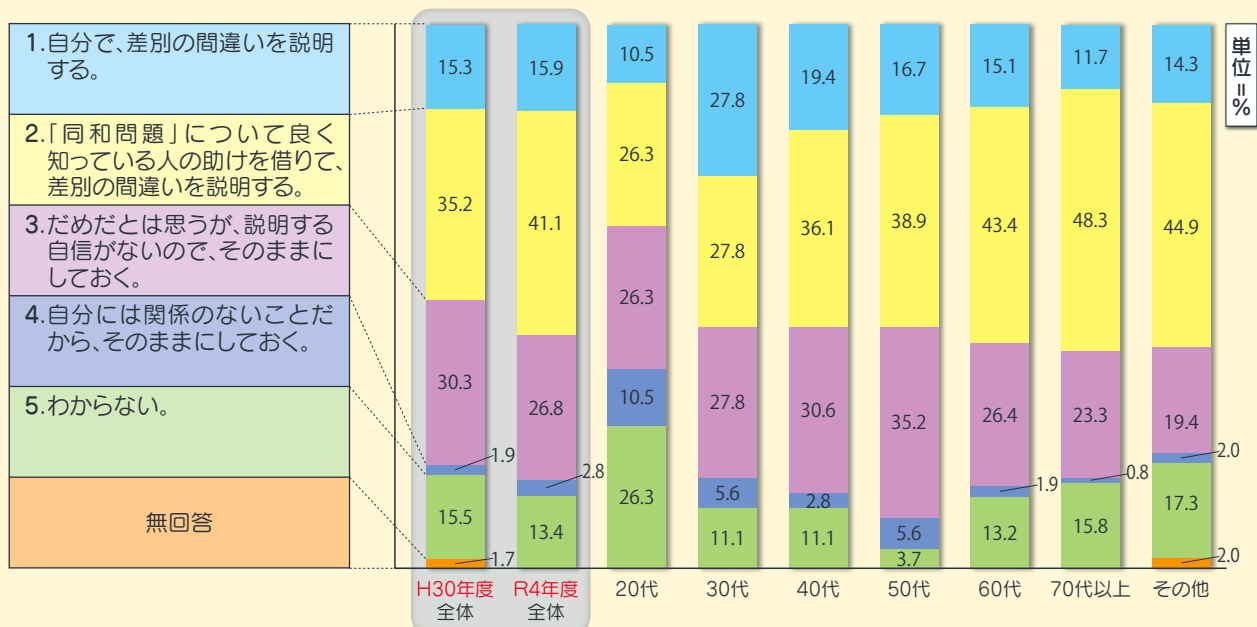
前回と比べると「交流支援に進んで協力したい」(回答1)や「機会を見て交流したい」(回答2)と回答した人の割合が高くなっています。



【質問 6】 同和問題について

仮に、あなたの身近な人が「同和問題」について差別的な発言をした場合、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

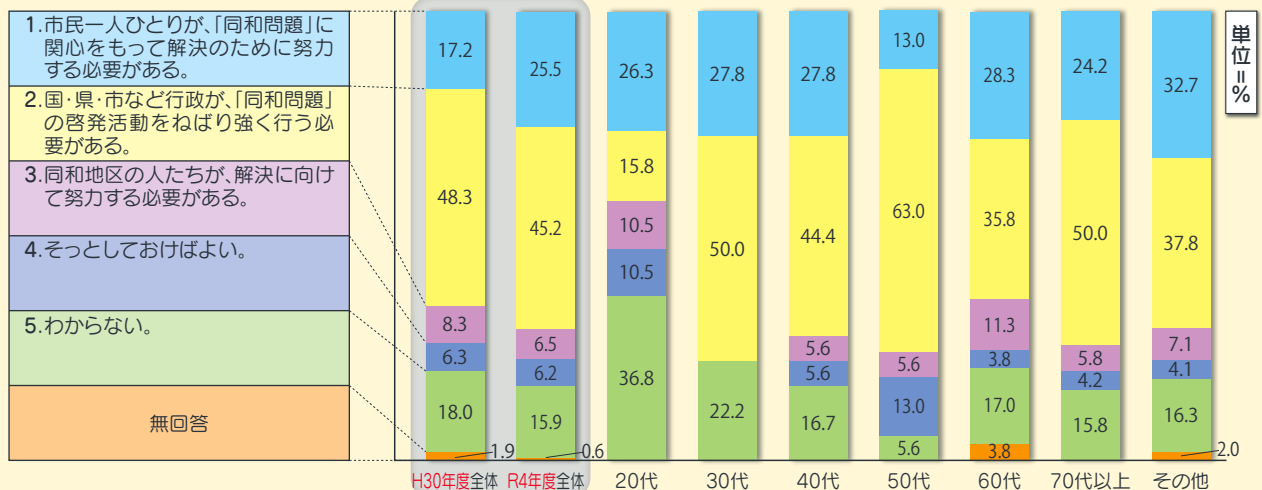
年代が高くなるごとに「良く知っている人の助けを借りて、差別の間違いを説明する」(回答2)と回答した人が増加しています。



【質問 7】 同和問題の解決について

あなたは、「同和問題」を解決するためには、今後どのようなことが必要であると思いますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

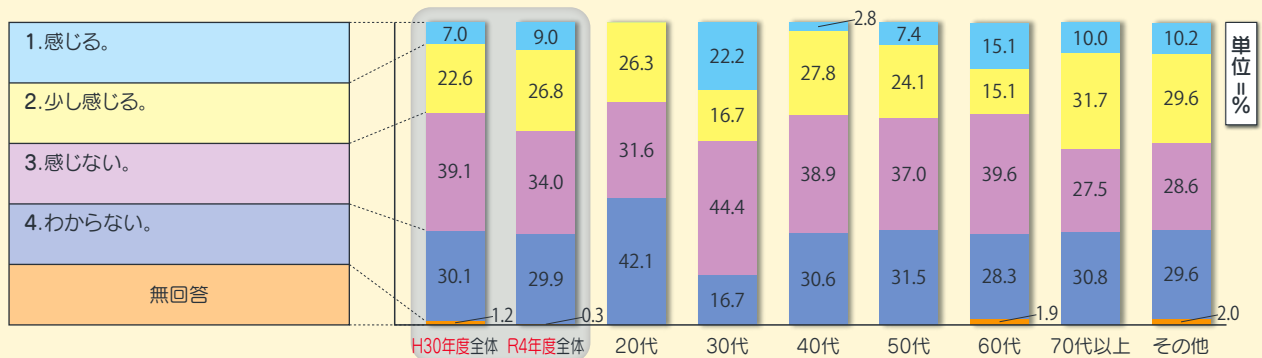
「市民や行政による同和問題の解決をめざす努力や啓発活動の必要性」(回答1+2)は全体では70.7%となり、前回(H30)より5.2ポイント増加しています。



【質問 8】 外国籍市民について

可児市には、多くの外国籍の人が住んでいます。あなたは、外国籍市民が日本での生活で、不利な取り扱いをされていると感じていますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

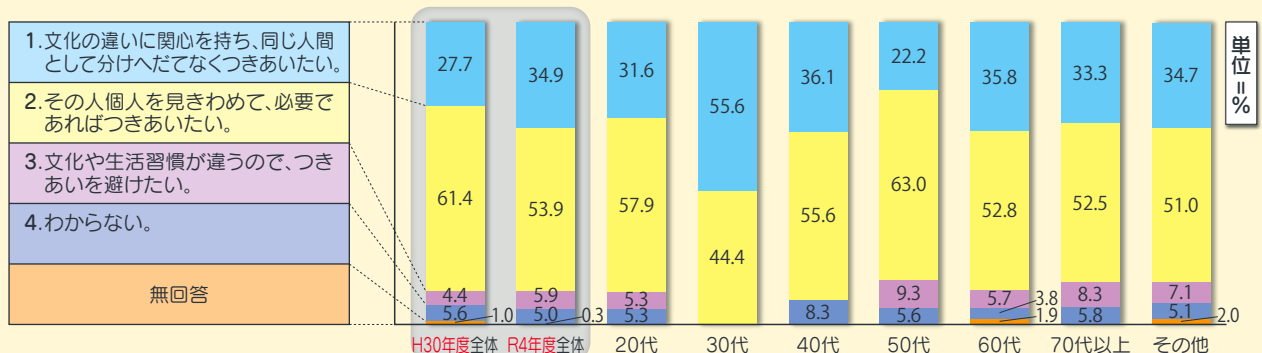
全体で外国籍市民が日本での生活で不利な取り扱いをされていると「感じる」(回答1)「少し感じる」(回答2)と回答する人が前回(H30)より6.2ポイント増加しています。



【質問 9】 多文化共生について

仮に、あなたの近所に外国籍の人が住むことになった場合、あなたはどのように考えますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

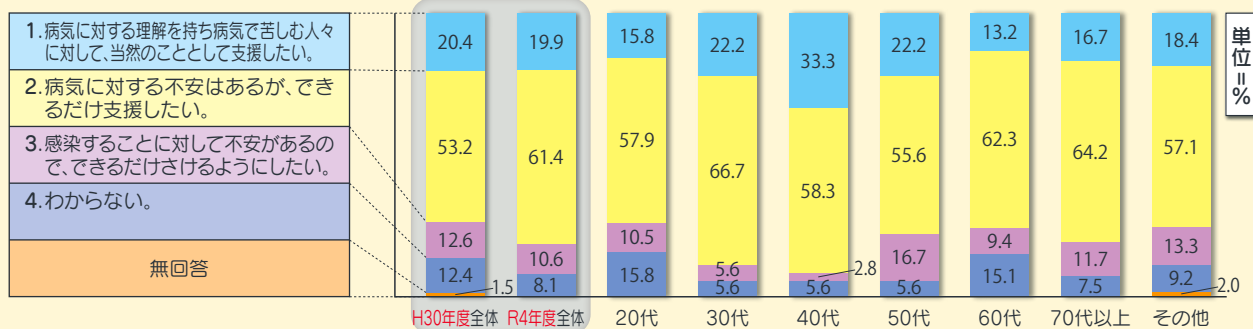
30代は「同じ人間としてつきあいたい」(回答1)「個人を見きわめてつきあいたい」(回答2)と回答した人が100%となり、どの年代よりも理解が高くなっています。



【質問 10】感染者等について

新型コロナウイルス、エイズ患者・HIVやハンセン病などの感染者に対する差別をなくす取り組みが進められています。あなたの近くに感染者等がいた場合、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

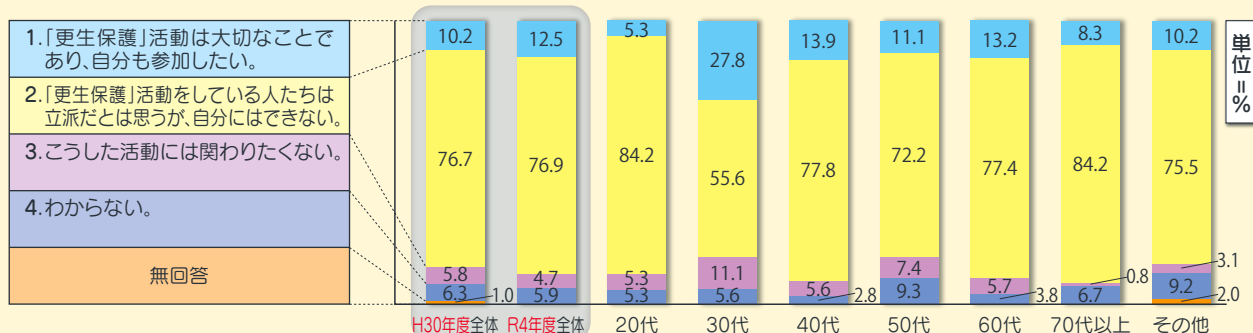
「当然のこととして支援したい」(回答1)、「できるだけ支援したい」(回答2)と回答した人が全体で80%以上あります。「当然のこととして支援したい」(回答1)は40代が一番高くなっています。



【質問 11】更生保護活動について

犯罪や非行を行った人が早期に社会復帰できるように支援する、「更生保護」活動をしている人たちがおられます。もしあなたに「更生保護」活動に参加しませんかと呼びかけられたら、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

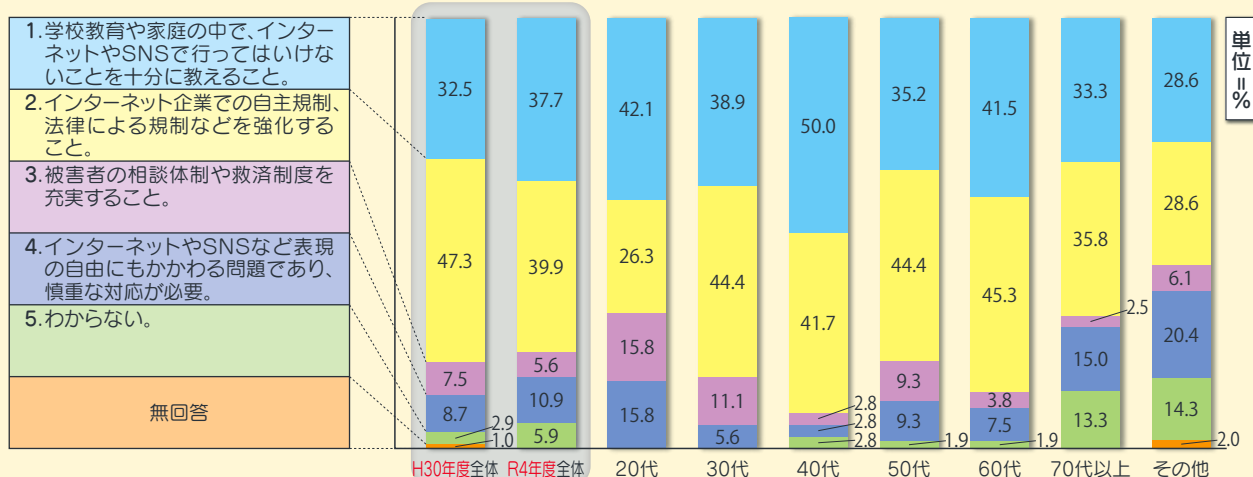
全体では、「こうした活動には関わりたくない」(回答3)と回答した人が減少しました。「自分も参加したい」(回答1)は30代が一番高くなっています。



【質問 12】インターネットやSNS（「LINE」「Facebook」「Instagram」等インターネット上のコミュニティサイトのこと）による人権侵害について

インターネットやSNSを悪用した人権侵害（差別、偏見、誹謗、中傷、他人に知られたくない情報を流すなど）が多くなっています。これらを無くするための方法について、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

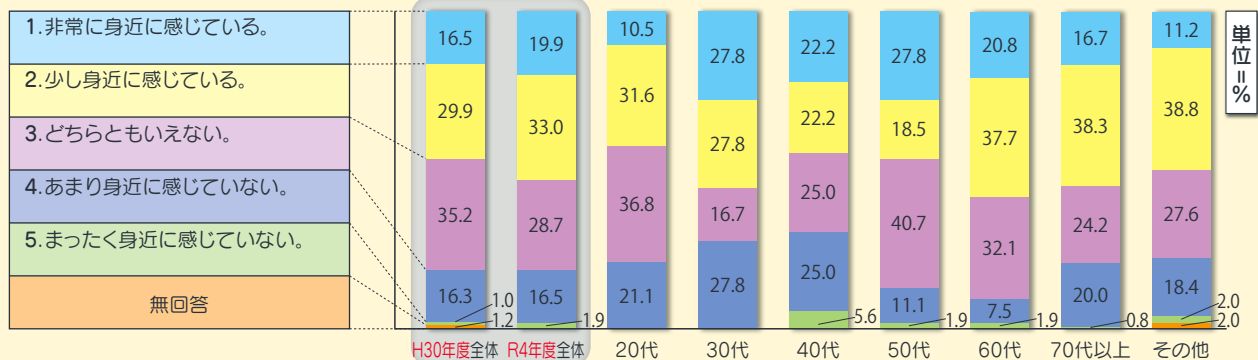
前回（H30）より全体で、「インターネットやSNSなど表現の自由の問題であり、慎重な対応が必要」(回答4)と回答した人が2.2ポイント増加しています。年代別では20代が一番高くなっています。



【質問 16】 人権の尊重について

あなたは、日ごろの生活の中で、互いの違いを認め合い、相手の立場を尊重するなどの「人権の尊重」について身近に感じていますか。あなたの感じ方に近いものを1つだけ選んでください。

全体では前回(H30)より「身近に感じている」(回答1+2)と回答した人が6.5ポイント増加しました。



調査考察

①今回と前回の調査結果について

全体の回答者数が減少し、性別では男性が前回より10.8ポイント、女性が7.4ポイントの減少となりました。

年代別では、40代・70代の回答者の割合が上がり、他の年代では減少しました。

②前回の調査より数値が大きく変化した質問には次のようなものがあります。

質 問	回 答	数値変化
1 男女差別について	1. 女性だからといって差別するようなことは、ぜひともなくすべきである。	男性 62.6%⇒76.7% 女性 59.6%⇒62.2%
3 いじめについて	1. 「いじめ」は、人として許されない行為である。	51.0%⇒58.6% 7.6ポイント 増
4 高齢者について	1. 高齢者であることや、高齢による障がいなどを理由に大切にしないことは、人間として許されない。	30.8%⇒38.0% 7.2ポイント 増
5 障がい者について	1. 何もさしつかえなく、交流・支援活動に進んで協力したい。	27.2%⇒35.2% 8.0ポイント 増
8 外国籍市民について	3. 不利な取り扱いをされていると感じない。	39.1%⇒34.0% 5.1ポイント 減
16 人権の尊重について	1. 「人権の尊重」について非常に身近に感じている。	16.5%⇒19.9% 3.4ポイント 増

③今後の方向性として

各質問から、人権問題に対して理解が進んだものもありますが、自分にはできない、身近には感じられないとするものもあります。

今後も人権を大切にする意識の醸成のために継続的な啓発活動をおこなってまいります。

 **可児市人権啓発センター**

〒509-0214

岐阜県可児市広見1-5(可児市総合会館2F)

TEL・FAX(0574)63-7990

ホームページ「可児ぬくもりネット」 <https://www.kani-nukumorinet.jp/>